

学籍番号	氏名	担当教員	テーマ		
M30-0088E	香川 涼花	大曽根 先生	承認印	Let's マスク美人 ～マスク提案機能の開発～	

1. 研究目的

コロナウイルスの流行により、現在の生活にマスクは必要不可欠である。私はマスク生活をしている中で様々なストレスを感じている。その中で特に問題視しているのが、①自分に似合うマスクが分からず印象が悪く見えてしまうこと、②目元しか見えていない中でメイクに変化を出すのが難しいことである。そこで、以上2点のストレスを解消し、マスク生活を楽しめるシステムを開発したいと考えた。

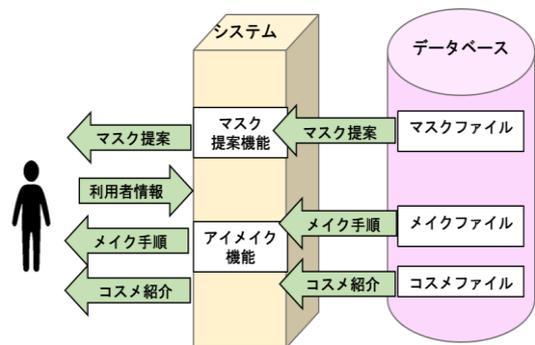


図1 システム概要

2. システム概要

本システムは、ユーザーに似合うマスクの診断をし、その結果を基にマスクとユーザーの要望に沿ったアイメイクの提案をするシステムである。そのシステム概要を図1に示す。このシステムには以下の2つの機能を持たせた。

(1) マスク提案機能：ユーザーに合ったマスクの種類を提案する機能である。

(2) アイメイク機能：ユーザーの要望に合わせたアイメイクを紹介する機能である。

筆者はマスク提案機能の開発を担当した。



図2 顔に関する入力画面

3. マスク提案機能の開発

本機能は以下の2つの機能から構成した。

(1) 顔からマスク提案機能

ユーザーに図2のように、①パーソナルカラー、②輪郭、③顔のサイズを入力してもらい、診断結果を基に図3のようにおすすめのマスクを表示する機能である。大前提として感染症対策をしてほしいという願いがある。そこで、おすすめに表示するマスクは最もウイルスの遮断率が高い不織布マスクで、全国マスク工業会の認定があるものに限定した。

(2) 場面からマスク提案機能

ユーザーにマスクを着用する場面に関しての質問に答えてもらい、その結果を基に最適なマスクを提案する機能である。マスクの素材は4種類、質問の分岐の仕方は8通りとした。ユーザーの回答によって質問が変わるよう工夫した。



図3 おすすめマスク表示画面

4. 研究成果

(1) 顔からマスク提案機能により、おしゃれの一環としてマスク生活を楽しめるようになった。

(2) 場面からマスク提案機能により、感染症対策がより効果的にできるようになった。

5. 残された課題

(1) おすすめのマスクに表示されるマスクが1種類ずつしかないため、種類を増やしたい。

(2) 顔からマスク提案機能を使用する際に、パーソナルカラー診断もできるようにしたい。

キーワード	マスク、アイメイク、マスク映えメイク、パーソナルカラー、マスク診断				
種類	システム開発	手法	マスク診断	データ源	パーソナルカラーサイト
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Visual Studio2017	使用言語	Visual Basic

